

食品衛生検査所事業概要

平成28年度



横浜市中心卸売市場

本場食品衛生検査所

はじめに

「食」は生きていくために必要不可欠であると同時に、私たちの生活を豊かなものにしてくれます。この豊かな生活を送るためには「食の安全・安心」は最も基本的で必要なことです。

平成 28 年度は食の安全性を揺るがす様々なことがありました。廃棄物として引き取った食品を転売するという事件や冷凍メンチカツにより腸管出血性大腸菌 O157 食中毒の発生など、この他にも多くの事件や食中毒が起きています。また、最近では遺伝子を同じくする腸管出血性大腸菌 O157 による全国レベルの広域な患者発生や惣菜が原因と思われる腸管出血性大腸菌 O157 の食中毒において尊い生命が奪われてしまったというニュースが連日、報道されています。

このような「食」に関する多くのニュースが毎日報道され、注目されることを考えますと、食中毒をはじめとする健康被害を未然に防止するための監視指導や食品検査の必要性を再認識しています。

横浜市では「食の安全・安心」を確保するために市民の皆様から様々な御意見を伺いながら年度ごとに策定する「横浜市食品衛生監視指導計画」に基づいて、いろいろな施策を実施しています。当食品衛生検査所においても平成 28 年度の重要事業である魚介類による食中毒の予防をはじめ、市内で製造・流通・販売されている食品の安全性を確保するために検査を実施し、違反・不良食品の排除に努めました。今後も流通する食品の「安全・安心」を確保するために様々な事業に取り組んでまいります。

ここに私たちが取り組みました結果を「平成 28 年度事業概要」としてまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

平成 29 年 10 月

横浜市中央卸売市場

本場食品衛生検査所長

鳥海正次

目 次

第1 総説

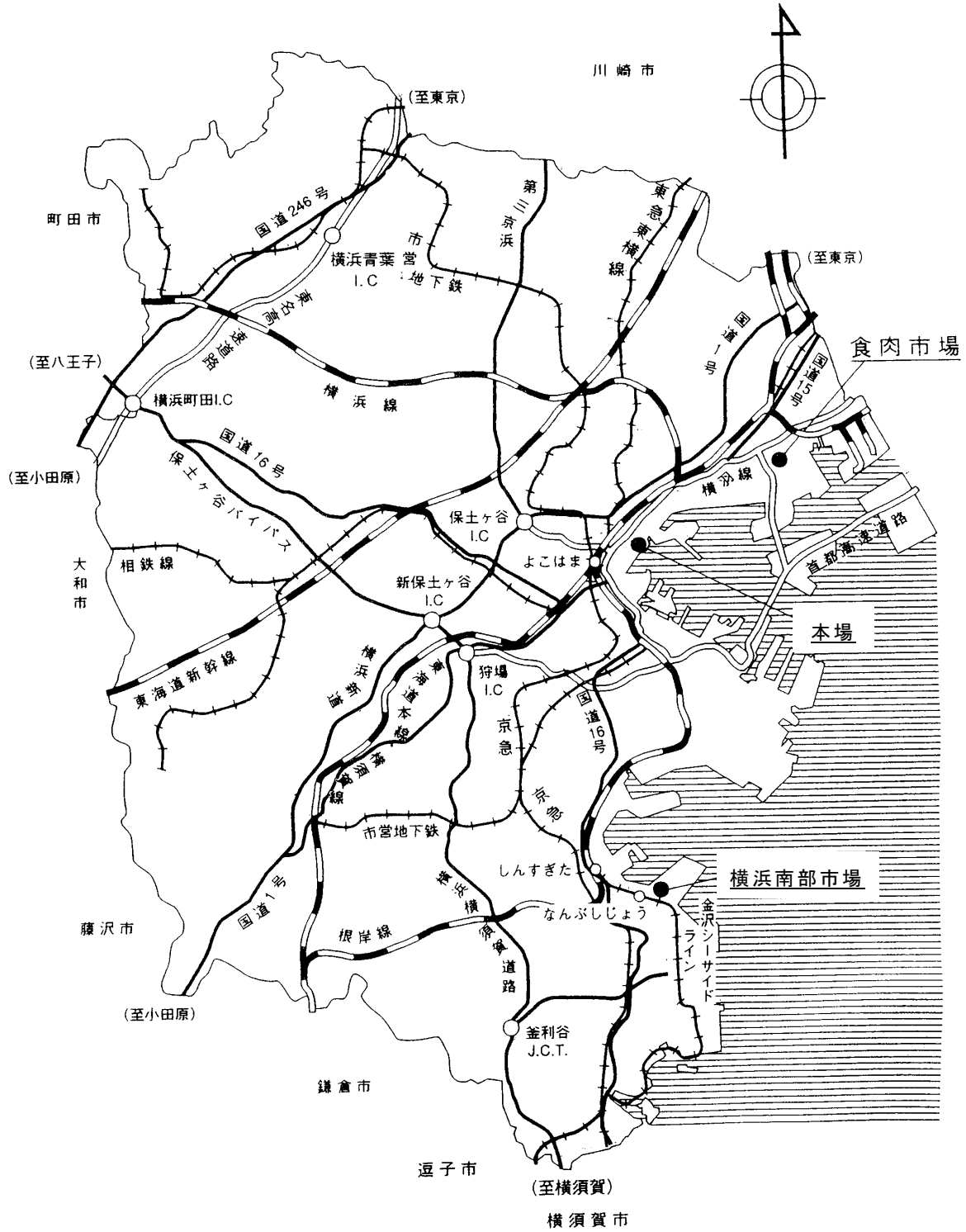
1 沿革	1
2 市場の概要	2
(1) 面積	2
(2) 取扱量の推移	2
(3) 場内業者の内訳	3
3 市場及び検査所平面図	4
(1) 中央卸売市場本場	4
(2) 横浜南部市場	5
4 横浜市における市場食品衛生検査所の位置づけ	6
5 検査所職員内訳	6
6 検査所の業務について	7
7 主要試験検査機器一覧	8

第2 業務実績

1 業務実績	9
2 平成28年度主要業務一覧	12
3 平成28年度監視業務実績	13
4 平成28年度食品別検査状況	14
5 食品分類別・項目別検査状況	
(1) 理化学検査実施数	15

(2) 細菌検査実施数	16
(3) 食品中の放射性物質	17
(4) 残留農薬	28
(5) 防ばい剤	33
(6) 抗生物質、合成抗菌剤、内寄生虫用剤	34
(7) 水銀	35
(8) PCB	36
(9) 貝毒	37
(10) ふぐ毒及び魚種鑑別	37
6 違反食品等一覧	38
7 相談対応	38
8 衛生教育実施結果	38
9 その他の業務	38
～市場食品衛生検査所関係年表～	39

横浜市中央卸売市場位置図



第1 総説



本場全景



横浜南部市場
全景

1 沿革

- 昭和 6年 中央卸売市場本場開場(市人口65万人、対象100万人)。
- 22年 (2月) 神奈川県が横浜市内に中央卸売市場監視室を設置、食品衛生監視員2名が駐在。
- 25年 (4月) 横浜市に食品衛生事務が委譲される。
(5月) 神奈川保健所分室食品衛生検査室発足、同保健所から食品衛生監視員4名を派遣駐在。
- 45年 (9月) 衛生局公衆衛生課所轄の食品衛生検査所となる(8名配置)。
- 48年 10名配置となる。
(10月) 中央卸売市場南部市場食品衛生検査所設置。
(11月) 中央卸売市場南部市場開場、同時に南部市場食品衛生検査所業務開始(6名配置)。
- 49年 南部市場食品衛生検査所10名配置となる。
- 53年 (4月) 14年計画の「本場再整備事業」開始。
- 60年 (1月) 同計画の一部が終了、本場食品衛生検査所新庁舎完成。
- 61年 (6月) 中央卸売市場本場食品衛生検査所が衛生局保健部所轄となる。
同所長が行政権限の大幅な委任を受けるとともに、南部市場食品衛生検査所を統轄。
- 平成 2年 (6月) 機構改革にともない衛生局保健部が分割され、生活衛生部が設置される。
生活衛生部所轄となる。
- 5年 (7月) 本場食品衛生検査所に食品監視機動班(3名)が設置される。
- 6年 (7月) 機構改革にともない、南部市場食品衛生検査所が課制となり、生活衛生部所轄となる。
- 11年 (4月) 機構改革にともない、本場食品衛生検査所内の機動班が廃止され、新たに食品専門監視班として食品衛生課に設置される。
- 18年 (4月) 機構改革にともない、健康福祉局健康安全部所轄となる。
- 19年 (4月) 機構改革にともない、健康福祉局健康安全部が市保健所を兼ねる。
- 27年 (3月) 中央卸売市場南部市場の中央卸売市場としての廃止とともに、南部市場食品衛生検査所を閉所。本場食品衛生検査所と統合。

2 市場の概要

(1)面積

	本 場
敷地面積	108,735㎡
建物延面積	131,789㎡
卸売部	16,205㎡
青果部	9,137㎡
水産物部	5,458㎡
鳥卵部	260㎡
低温	(1,350㎡)
仲卸部	4,599㎡
青果部	1,599㎡
水産物部	3,000㎡
関連事業者店舗	1,964㎡
倉庫	1,487㎡
冷蔵庫	10,571㎡
配送センター	5,390㎡
駐車場(台数)	1,661台

注)施設面積は、使用指定・許可面積 (平成29年4月1日現在)

(2)取扱量の推移

単位 (t)

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
本場	青果	366,447	368,127	359,915	371,573	354,952
	水産	52,928	50,351	46,834	57,435	64,156
南部 跡地	青果	114,659	91,508	109,325		
	水産	25,281	20,780	15,711		

(平成29年4月1日現在)

南部市場は平成27年4月以降、卸売業者・仲卸業者・売買参加者が本場で取引した物品の受け渡しを行い、本場を補完する加工・配送、流通の場として活用されています。

・市場外指定保管場所 (卸売市場法第39条、横浜市中心卸売市場業務条例第42条)

卸売業者からの申請に基づき市長が市場外指定保管場所として指定します。市場外指定保管場所とは、産地から物品を、市場を経由しないで直接受け渡しできる場所です。

・市場外施設 (横浜市中心卸売市場業務条例第49条)

仲卸業者は開設者に届け出れば、市場外に貯蔵・保管・仕分け・配送等の場所を設置することができます。市場外施設では、買い手から注文があった物品を受け渡すことができます。

(3)場内業者の内訳

	本場
水産物部	
卸売業者	2
仲卸業者	65
青果部	
卸売業者	2
仲卸業者	30
鳥卵部	
卸売業者	1
関連事業者	
食料品卸売業	13
買荷保管業	1
運送業	3
倉庫業	2
加工業	3
飲食営業	14
必需品販売業	4
金融業	1
理容業	1

(平成29年4月1日現在)

[食品衛生法による分類]

営 業 の 種 類	対象施設		
	本場	南部市場	
飲 食 店	自動販売機	24	5
	その他	0	18
菓 子 製 造 業	1	0	
魚 介 類 販 売 業	113	49	
魚 介 類 せ り 売 営 業	2	0	
魚 肉 ね り 製 品 製 造 業	1	0	
食 品 の 冷 凍 又 は 冷 蔵 業	13	10	
喫 茶 店	自動販売機	19	10
	その他	1	0
乳 類 販 売 業	自動販売機	6	2
	その他	5	5
食 肉 処 理 業	1	1	
食 肉 販 売 業	17	9	
そ う ざ い 製 造 業	6	2	
ソ ー ス 類 製 造 業	0	0	
氷 雪 製 造 業	1	0	
氷 雪 販 売 業	0	1	
魚 介 類 行 商	6	9	
魚 介 類 加 工 業	9	7	
発 酵 乳 等 販 売 業	2	1	
事 業 所 給 食 施 設	1	0	
野 菜 果 物 販 売 業	43	29	
菓 子 販 売 業	1	11	
食 品 販 売 業	38	30	
食 品 製 造 業	5	3	
そ う ざ い 販 売 業	1	9	
弁 当 類 販 売 業	1	2	
酒 類 販 売 業	0	2	
醬 油 製 造 業	0	1	
器 具 ・ 容 器 包 装 ・ お も ち や 製 造 販 売 業	4	5	
合 計	321	221	

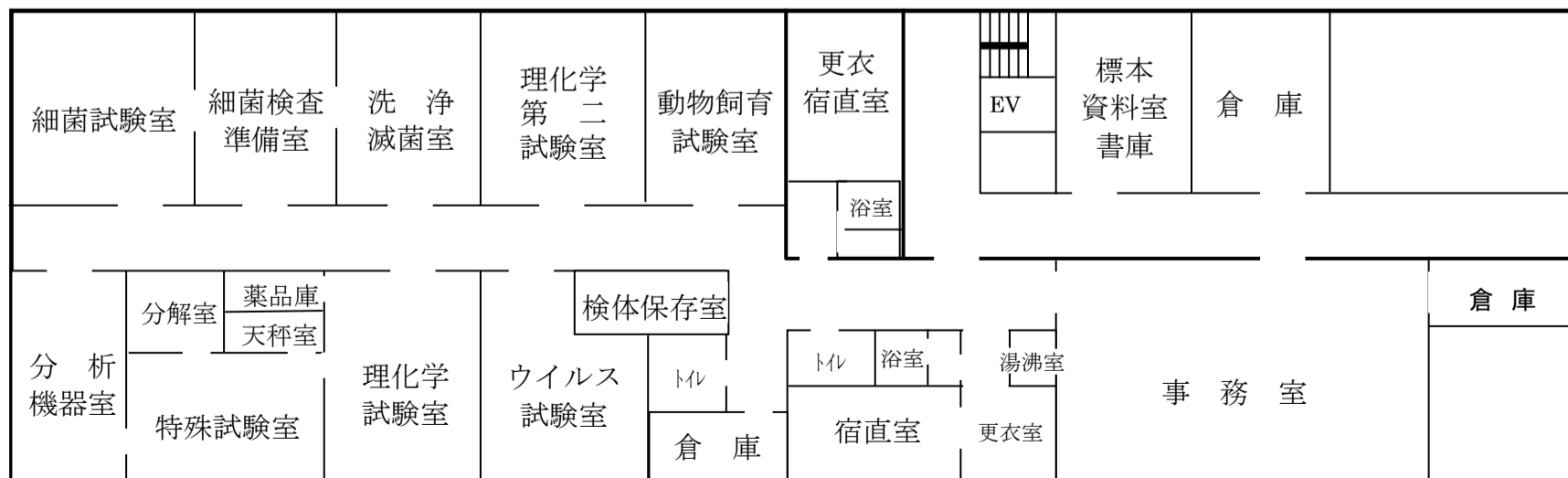
(平成29年4月1日現在)

3 市場及び検査所平面図

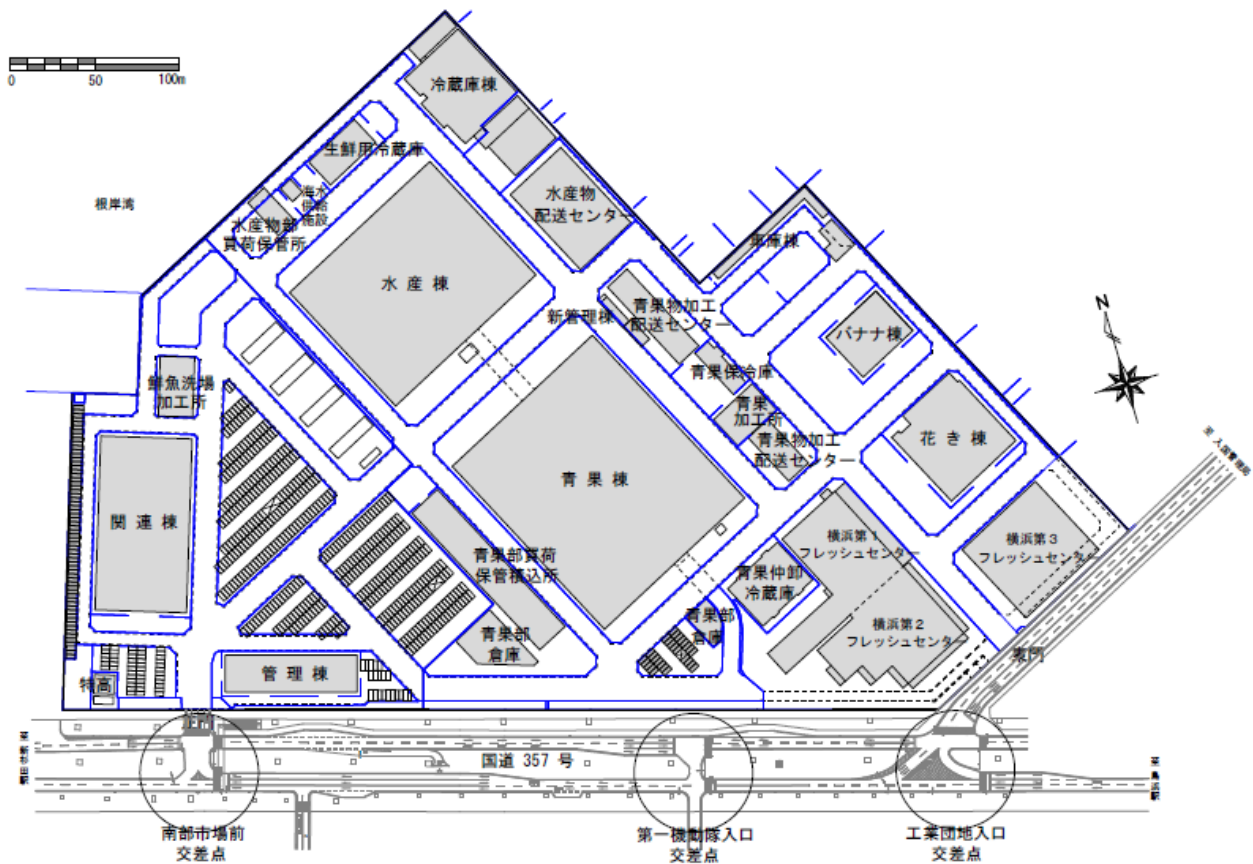
中央卸売市場本場 平面図



中央卸売市場本場食品衛生検査所 総面積744.0m²



横浜南部市場 平面図



～横浜南部市場の今後の整備計画～

平成27年3月31日をもって中央卸売市場としては廃止した南部市場は、本場を補完する加工・配送、流通の場として活用する「物流エリア」と、公募事業者の提案・整備により活用する「賑わいエリア」に分け、事業を進めています。

物流エリアにおいては、民間による一部施設の外気遮断、温度管理型への改修、新施設整備などを予定しています。

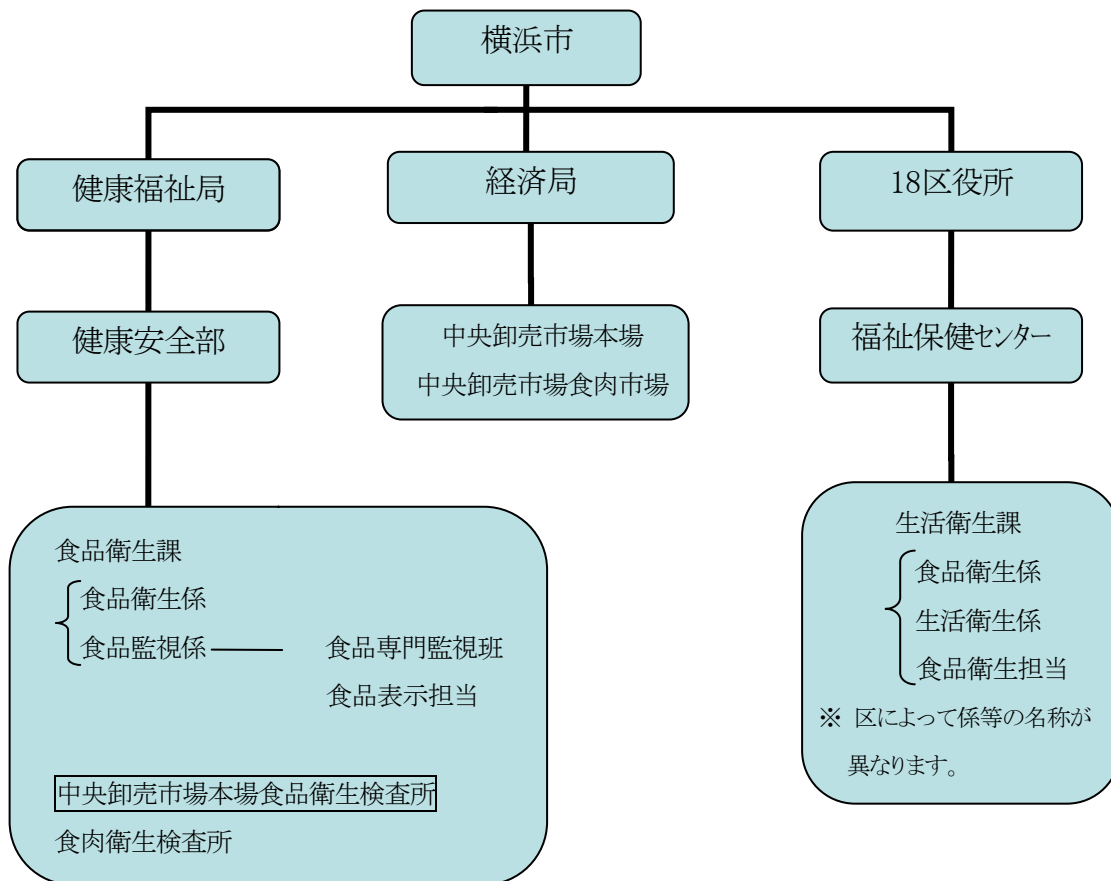
賑わいエリアでは、南部市場が昭和48年の開設以来40年以上地元へ新鮮食料品を供給してきた特性を活かした集客施設の建設により、横浜南部市場の活性化を図ることを目指します。



4 横浜市における市場食品衛生検査所の位置づけ

横浜市には、中央卸売市場として本場、食肉市場があり、いずれも横浜市経済局が運営しています。

これらの市場には、それぞれ食品の衛生確保を図るために食品衛生検査所等(以下「検査所」という。)が設置され、各市場を經由し市中に流通する食品の検査を行っています。検査所は、横浜市健康福祉局健康安全部に属しており、食品の安全・衛生を確保する各区の福祉保健センターと連携して市場内の監視と検査を分担しています。



5 検査所職員内訳

総数	所長	係長	食品衛生監視員		事務
			理化学	細菌	
15	1	2	6	5	1

(平成29年4月1日現在)

6 検査所の業務について

現在、早朝勤務と通常勤務の二体制で業務を行っています。

(1) 早朝勤務

「せり」の前に、せり場において監視指導及び収去を行っています。

2名一組で週3～4回実施しており、検査所における収去の大部分はこの早朝勤務で行っています。

せり終了後は仲卸業者、関連業者に対して監視指導を行っています。

早朝勤務の主な業務内容は次のとおりです。

- ア 食品等取扱の監視及び指導
- イ 食品等の表示点検
- ウ 貝類等が各種規制に適合しているかの調査
- エ 有毒魚等の排除
- オ 食品の収去

(2) 通常勤務

始業時のミーティングにおいて、早朝勤務の報告や一日の方針などの打合せを行った後、場内巡回による監視指導等を行い、検査業務に移ります。

通常勤務の主な業務内容は次のとおりです。

- ア 仲卸業者、関連業者、行商作業場その他場内全般について、前記(1)ア～オの業務
- イ 場内関係者との打合せ及び各種業務連絡
- ウ 検査業務
 - (ア)細菌検査
 - (イ)理化学検査
 - (ウ)病理寄生虫検査
- エ 検査成績書の作成・交付
- オ 違反品・不良品等の処理
- カ 苦情・各種衛生相談等問合せの処理
- キ 場内店舗の許可調査
- ク 講習会等の開催

7 主要試験検査機器一覧

	品名	数量
細菌	電気ふらん器	7
	嫌気性培養装置	1
	超音波洗浄器	1
	顕微鏡	2
	顕微鏡撮影装置	2
	スタマッカー	2
	システムダイリユーター	4
	ホモジナイザー	2
	冷蔵庫(培地保存用)	5
	高圧滅菌器(ガス式)	3
	高圧滅菌器(電気式)	3
	ウォーターバスインキュベーター	2
	乾熱滅菌器	2
	電子上皿天秤	2
	超音波ピペット洗浄器	2
	ウォーターバス	2
	コロニーカウンター	3
	デジタルカウントペン	2
	ドライイングシェルフ	1
	試験管ミキサー	4
	純水製造装置	1
	オートデシケーター	2
	クリーンベンチ	1
	高速遠心分離器	2
	PCR用機材一式	1
	Real-Time PCR用機材一式	1
超低温フリーザー	1	
pHメーター	1	
病理・寄生虫	顕微鏡	1
	実体顕微鏡	1
	顕微鏡撮影装置	1
その他	冷蔵庫	1
	冷凍庫	5
	スライドプロジェクター	1
	赤外線温度計	6

	品名	数量
理化	超高速ホモジナイザー	4
	試験管ミキサー	1
	フードプロセッサー ロボクープミキサー	1
	フードプロセッサー クイジナートミキサー	1
	トリオブレンダー	2
	電子上皿天秤	5
	天秤台(除振台)	2
	超音波ピペット洗浄器	1
	マッフル炉	1
	電気定温乾燥器	2
	ボトルキャビネット	6
	デシケーター	3
	薬用冷蔵庫	2
	冷凍冷蔵庫	1
	フリーザー	1
	アスピレーター	3
	吸引マニホールド	3
	遠心分離器	2
	シェーカー	1
	ロータリーエバポレーター	6
	コンプレッサー	1
	低温循環水槽	3
	水蒸気発生装置	3
	超音波洗浄器	2
	生物環境調節装置	1
	ガラス電極 pHメーター	1
分光光度計	1	
水銀分解装置	1	
水銀分析装置	1	
紫外線照射器	2	
過酸化水素計	1	
ガスクロマトグラフ質量分析計	2	
高速液体クロマトグラフ	1	
高速液体クロマトグラフ質量分析計	1	
シンチレーションサーバイメータ	1	
ガンマ線核種分析システム	1	
スーパーシールド遮へい缶	1	

第2 業務実績



細菌検査業務

理化学検査



監視業務

1 業務実績

(1) 監視指導業務

中央卸売市場本場食品衛生検査所では、早朝監視及び通常監視を行っています。早朝監視は、せり売り開始前の午前3時すぎから2名の食品衛生監視員が、有毒有害魚介類及び違反・不良食品の排除並びに生食用貝類の温度測定等を行っています。通常監視は、せり売りされた食品が仲卸店舗や市場内外の関連施設に移動した段階で、これら食品の取扱い及び保管状況等の監視指導を行っています。

平成28年度は、両市場内542施設に対し、延べ13,345件の監視指導を実施しました。(P.13)

毎年、高温多湿となる6月1日から8月31日までを『夏期食品等一斉点検期間』、食品の流通量が増加する11月1日から12月30日までを『年末食品等一斉点検期間』に設定し、食中毒の予防、不良食品の排除及び適正表示の徹底を目的とした、監視指導及び収去検査を実施しています。

平成28年度の主要業務 (P.12)

(2) 検査業務

平成28年度の中央卸売市場本場における農産物の年間取扱量は、約35万トン、水産物は約6万トンでした。(P.2)

これらの食品について、月別、品目別に年間計画に基づき、理化学検査及び細菌検査を行いました。1,596検体の食品等を収去し、理化学検査を28,488項目、細菌検査を3,192項目、表示検査を406項目、計32,086項目の検査を実施しました。なお、魚介類のPCBの検査については、市衛生研究所に検査を依頼して実施しました。

また、市内のスーパー等で販売されているそうざい、洋生菓子や各種食品製造工場の製品等について、福祉保健センター及び食品専門監視班から546検体の検査依頼により、理化学検査6,624項目、細菌検査1,202項目、計7,826項目の検査を実施しました。

この他、信頼性確保のための精度管理86検体105項目の検査を実施しました。

(P.14)

ア 理化学検査

(ア) 食品添加物

保存料、着色料、発色剤等の食品添加物が適正に使用され、かつ適正に表示されているか、検査を実施しました。(P.15)

(イ) 放射性物質

福島原発事故の影響を受けて、市内を流通する食品中の放射性物質の核種分析検査を実施しています。市場流通水産物180検体、農産物40検体、量販店等流通販売品50検体、学校給食食材4検体の検査を実施しましたが、基準値を超えるものはありませんでした。(P.17～27)

(ウ) 残留農薬

有機塩素系・有機リン系・ピレスロイド系等の農薬検査を実施しました。国産農産物131検体、輸入農産物17検体の検査を実施し、ホウレンソウ1検体について残留基準値を超える農薬を検出しました。(P.28～32)

(エ) 防ばい剤

輸入果実類のレモン、バナナ、グレープフルーツなど計5検体について検査を実施しましたが、使用基準値を超えるものはありませんでした。(P. 33)

(オ) 抗生物質・合成抗菌剤・内寄生虫用剤

魚介類、鶏卵など計26検体について検査を実施しましたが、すべて不検出でした。(P. 34)

(カ) 水銀

魚介類40検体の検査を実施しましたが、暫定的規制値(総水銀として0.4ppm)を超えるものはありませんでした。(P. 35)

(キ) PCB

魚介類10検体の検査を実施しましたが、暫定的規制値(遠洋沖合魚介類0.5ppm、内海内湾魚介類3ppm)を超えるものはありませんでした。(P. 36)

(ク) 貝毒

二枚貝が毒化する時期等の情報に基づき、二枚貝33検体の検査を実施しましたが、麻痺性貝毒(規制値4MU/g以下)、下痢性貝毒(規制値0.16mg OA当量/kg以下)について、規制値を超えるものはありませんでした。(P. 37)

(ケ) ふぐ毒及び魚種鑑別

ふぐ加工製品(ふぐ刺し、ふぐちり材料パック入り等)8検体のふぐ毒の検査を実施しましたが、すべて検出限界値(5.25MU/g)未満でした。

また、たんぱくゲル電気泳動法で、3検体の魚種鑑別の検査を実施しましたが、ふぐ加工製品の表示はすべて適正でした。(P. 37)

イ 細菌検査

(ア) 規格基準の定められた食品

生食用かきについて規格基準に基づき検査を行ったところ、1検体についてE. coli 最確数が基準値を超えたため、加工所を所管する自治体へ通報しました。

その他、生食用鮮魚介類、魚肉ねり製品、食肉製品、冷凍食品、氷雪等について、夏期食品等一斉点検期間及び年末食品等一斉点検期間を中心に検査を実施しましたが、違反はありませんでした。

(P. 16、38)

(イ) 規格基準の定められていない食品等

a 衛生規範の定められた食品

そうざい類や洋生菓子など、衛生規範で生菌数などの指導基準が定められている食品について検査を実施し、そうざい及び洋生菓子でそれぞれ1検体ずつ不適事例を発見しました。(P. 38)

b その他

生食用及び加熱用かきについては、規格基準検査と同時に43検体のノロウイルス検査を実施しましたが、陽性となった検体はありませんでした。(P. 16)

活魚水槽水(市場せり場内及び仲卸の店頭を設置)の検査は、活魚の多くが生食用に供されるため、これら使用水の食中毒菌汚染状況の把握を主目的として、海水、海水ろ過水

とともに検査を実施し、二次汚染防止に努めています。

生食用の貝類（舌切・小柱・アオヤギ等）、魚類（刺身用切り身、まぐろなど）及びウニ等については、規格基準項目に加えて食中毒菌も検査を実施し、取扱いについて注意を喚起しました。

(3) 違反食品等

食品衛生法に違反する食品を2件（ハウレンソウの残留農薬、生食用かきのE. coli 最確数）、食品表示法に関する違反を2件発見しました。その他、衛生規範不適の食品2件を発見しました。これらの食品は流通防止等の対応を図りました。（P. 38）

(4) 相談対応

食品等の相談件数は12件ありました。（主な事例：P. 38）

(5) 食品衛生検査所等の業務管理基準（GLP）

平成9年度から導入されたGLPに基づき、検査の精度管理を実施しました。外部精度管理、内部精度管理あわせて、86検体105項目を実施しました。（P. 14）

2 平成28年度主要業務一覧

	業務名	主な対象食品	担当		実施期間 (○印は月を表わす)	備考
			細	化		
収去検査関係業務	生食用鮮魚介類の検査	小柱・舌切等	○		④……………③	☆
	魚介類の水銀検査			○	④……………③	
	輸入鮮魚介類の検査	生うに・エビ等	○	○	④……………③	
	酸化防止剤の検査	にぼし・めざし・まるぼし等		○	④……………③	
	魚介類毒性検査	ふぐ・ホタテガイ・お刺等		○	④……………③	
	年末魚卵類一斉検査		○	○	⑪	
	抗菌性物質の残留検査	グリ・タイ等		○	④……………③	
	魚介類のPCB検査			○	④……………③	
	加工食品の検査 (魚介類、野菜豆類等)	魚肉ねり製品、珍味そう ざい、ネギトロ等	○	○	④……………③	
	放射性物質検査	農水産物・加工品	○	○	④……………③	
	生かきの検査		○		⑩……………③	
	ふぐ加工製品等の検査	ふぐさし・ふぐちり等		○	⑫……………③	
	電気泳動法による魚種鑑別	魚介切身、ふぐ等		○	④……………③	
	漬物の検査		○	○	④……………③	
	生食用野菜の検査		○		④……………③	
	輸入柑橘類の防ばい剤検査			○	④……………③	
	残留農薬検査			○	④……………③	
	関連棟刺身のつま、卵焼等検査	つま、卵焼等	○		④……………③	
	鶏卵の検査	生卵	○	○	④……………③	
	食肉製品等の検査		○	○	④……………③	
菓子等の検査(生菓子を含む)	焼き菓子、生菓子等	○	○	④……………③		
サラダ類(そうざい)		○	○	④……………③		
検食、フキトリ検査(飲食店等)		○		⑥……………⑨		
活魚水の細菌検査		○		④……………③		
夏期一斉検査	食肉製品、氷雪、清涼 飲料水、冷凍食品、マ グロ(仲卸各店)等	○	○	⑥⑦⑧		
年末一斉検査	おせち、正月用品等	○	○	⑪⑫		
寄生虫の検査		○		④……………③		
監視指導業務	魚介類販売業の一斉監視指導				⑤……………⑧	弁当屋を含む
	魚介類行商の一斉監視指導				⑤……………⑧	
	飲食店の一斉監視指導				⑤……………⑦	
	秀級施設の推進事業				⑧……………⑪	
	表示点検				④……………③	
	学校給食用物資納入業者の監視指導				⑥……………⑩	
	食中毒予防月間				⑧	
	ホタテガイ等二枚貝の監視指導				④……………③	
	関連棟施設の一斉監視指導				⑥……………⑪	
冷凍冷蔵関係の一斉監視指導				⑧……………②		
低温せり場の一斉監視指導				⑦⑧		
講習会・ 会議等	食品衛生責任者講習会				⑥ ⑧⑨ ③	全業種について 講習会を実施
	消費者衛生教育				④……………③	
	首都圏5都市市場検査所連絡会議				⑤ ②	
	全国市場衛生検査所協議会関係				⑤ ⑪	

☆ 一部の検査は衛生研究所において実施

3 平成28年度監視業務実績

業種	本場		南部	
	対象施設数	監視件数	対象施設数	監視件数
飲食店 一般食堂	11	11	7	
飲食店 レストラン			2	
飲食店 すし屋	2	1	1	
飲食店 そば屋	1	1		
飲食店 中華料理店			1	
飲食店 給食食堂	5	2	3	
飲食店 軽飲食	4	5	2	
飲食店 弁当屋	1			
飲食店 そうざい			2	
飲食店 自動販売機による営業			5	
菓子製造業	1			
魚介類販売業	97	178	42	8
魚介類販売業 冷凍包装	11	2	2	
魚介類販売業 冷蔵包装	1		1	
魚介類販売業 冷凍又は冷蔵包装	4	1	4	
魚介類せり売営業	2			
魚肉ねり製品製造業	1			
食品の冷凍又は冷蔵業	13	5	10	1
喫茶店	1			
喫茶店 カップ式自動販売機	19		10	
乳類販売業 専業販売	1			
乳類販売業 店頭販売	4		5	
乳類販売業 自動販売機による営業	6		2	
食肉処理業	1		1	
食肉販売業	2		2	
食肉販売業 冷凍包装	9	3	2	
食肉販売業 冷蔵包装	1		2	
食肉販売業 冷凍又は冷蔵包装	5	2	3	
醤油製造業			1	
そうざい製造業	6	4	2	2
ソース類製造業				1
缶詰又は瓶詰食品製造業				1
冰雪製造業	1			
冰雪販売業			1	
魚介類行商	6	7	9	
魚介類加工業	9	6	7	3
発酵乳等販売業	2		1	
許可営業施設	227	228	130	16
工場・事業所給食	1			
食品製造業	5	1	3	
野菜・果物販売業	43	2	29	
そうざい販売業	1		9	
菓子販売業	1		11	
弁当類販売業	1		2	
酒類販売業			2	
食品販売業	38	4	30	
器具・容器包装・おもちゃ製造販売業	4		5	
報告営業施設	94	7	91	
監視件数(A)		235		16
食品表示等監視件数(B)		7,728		5,366
総監視件数(A+B)		7,963		5,382

4 平成28年度食品別検査状況

食品分類	収去 検体数	検査 検体数	検査項目数					衛研 搬入数	違反件数(項目数)					行政処分件数					行政指導 措置等件数	衛生規範 不適数	
			総数	理化学検査	細菌検査	表示検査	その他		検査				監視	総数	廃棄 処分	返品 処分	営業の 禁停止	その他			
									総数	理化学	細菌	表示									
魚介類	332	370	1,282	1030	210	42	0	10	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
冷凍食品	無加熱摂取冷凍食品	4	9	35	15	16	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	凍結直前に加熱された 加熱後摂取冷凍食品	8	14	126	102	18	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	凍結直前未加熱の 加熱後摂取冷凍食品	5	10	20	0	15	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生食用冷凍鮮魚介類	6	12	30	0	24	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚介類加工品 (かん詰、びん詰を除く)	506	750	2,750	1491	1119	140	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
肉、卵類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	20	56	722	626	80	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳製品及び 乳類加工品	2	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
穀類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	28	41	95	4	78	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野菜類、果実類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	254	321	24,580	24344	180	56	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
菓子類	37	94	307	159	111	37	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
清涼飲料水	15	45	360	300	45	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
氷雪	38	38	114	0	114	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水	202	218	740	0	740	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かん詰、びん詰食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の食品	139	241	921	413	442	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
器具及び容器包装	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	1,596	2,221	32,086	28,488	3,192	406	0	10	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4	2
調理器具等フキトリ検査	22	22	51	0	51	0	0	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
福祉保健センター等依頼検査	/	546	7,826	6,624	1,202	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
精度管理検査	/	86	105	63	42	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
総計	1,618	2,853	40,017	35,175	4,436	406	0	10	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4	2

5 平成28年度食品分類別・項目別検査状況

(1) 理化学検査実施数

食品分類	食品添加物							放射 性 物質	残 農 薬	抗 菌 性 留 物 合 成 抗 菌 剤	重 金 属 P C B	貝 フ グ 毒	不 揮 発 性 ア ミ ン	そ の 他
	合 甘 味 成 料	着 色 料	合 保 存 成 料	酸 防 止 化 剤	発 色 剤	漂 白 剤	防 ば い 剤							
魚介類			18			6		360		536	50	68		2
冷凍食品	無加熱摂取冷凍食品		11	3		1								
	凍結直前に加熱された 加熱後摂取冷凍食品									102				
	凍結直前未加熱の 加熱後摂取冷凍食品													
	生食用冷凍鮮魚介類													
魚介類加工品 (かん詰、びん詰を除く)	4	831	286	10	24	32				153		1	149	1
肉、卵類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)		116	30		10					470				
乳製品及び 乳類加工品														
穀類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)														
野菜類、果実類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	43	462	89				10	80	23,660					
菓子類		99	60											
清涼飲料水	15	165	120											
水														
かん詰、びん詰食品														
その他の食品		297	111			5								
小計	62	1,981	717	10	35	43	10	440	23,660	1,261	50	69	149	3
調理器具等フキトリ検査														
福祉保健センター等 依頼食品検査	44	627	264	45	18	6		104	5,502			5		
精度管理検査			13	8		8	16		10	8				
総計	106	2,608	994	63	53	57	26	544	29,172	1,269	50	74	149	3

(2) 細菌検査実施数

()内について、細菌数は違反または不適合事例数、その他項目は陽性数を示す

食品分類	細菌数	大腸菌群	E.coli※	E.coli 最確数	黄色 ブドウ球菌	サルモネラ	腸炎 ビブリオ	腸炎ビブリオ 最確数	ノロ ウイルス	クドア
魚介類	40		18 (1)	25 (12)	43		3 (1)	40 (4)	25	16
冷凍食品	無加熱摂取冷凍食品	4	4		4		2	2		
	凍結直前に加熱された 加熱後摂取冷凍食品	6	6		6					
	凍結直前未加熱の 加熱後摂取冷凍食品	5		5	5					
	生食用冷凍鮮魚介類	6	6		6			6		
魚介類加工品 (かん詰、びん詰を除く)	334	216 (31)	115		331		123			
肉、卵類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	20		20		20	20				
乳製品及び 乳類加工品										
穀類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	26	10	16		26					
野菜類、果実類及び その加工品 (かん詰、びん詰を除く)	60		60 (2)		60					
菓子類	37	17 (2)	20		37					
清涼飲料水	15	15			15					
氷雪	38	38 (2)			38					
水	202		202 (28)		134		202 (11)			
その他の食品	138 (1)	3	138 (3)		135	2	26			
フキトリ	22	15	7		7					
小計	931 (1)	315 (35)	594 (34)	25 (12)	860	22	356 (12)	48 (4)	25	16
福祉保健センター等依頼検査	397 (2)	113 (1)	328 (10)	18 (16)	304	24			18	
精度管理検査	24	2	4		4	4	4			
総計	1,352 (3)	430 (36)	926 (44)	43 (28)	1,168	50	360 (12)	48 (4)	43	16

※大腸菌を含む

(3) 食品中の放射性物質

ア 水産物(市場買取分)

単位:Bq/kg

	買取品名	産地		買取日	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
1	アオメエソ(メヒカリ)	宮城県	宮城県沖	2月28日	<0.627	<0.651	検出限界未満
2	アカアマダイ	神奈川県	神奈川県沖	11月18日	<0.643	<0.872	検出限界未満
3	アカカマス	神奈川県	神奈川県沖	6月2日	<0.698	<0.814	検出限界未満
4	アカカマス	神奈川県	神奈川県沖	10月12日	<0.574	<0.788	検出限界未満
5	アカカマス	神奈川県	神奈川県沖	1月10日	<0.918	<1.05	検出限界未満
6	アカガレイ	北海道	北海道青森沖	8月9日	<0.633	<0.741	検出限界未満
7	アカメバル	青森県	青森県沖	10月21日	<0.750	<1.00	検出限界未満
8	アナゴ	宮城県	宮城県沖	9月21日	<0.597	<0.728	検出限界未満
9	アブラツノザメ (ムキサメ)	青森県	青森県沖	2月10日	<0.895	<0.877	検出限界未満
10	アブラツノザメ (ムキサメ)	青森県	青森県沖	3月28日	<0.730	<0.918	検出限界未満
11	アンコウ	青森県	青森県沖	1月6日	<0.773	<0.844	検出限界未満
12	アンコウ	青森県	青森県沖	2月24日	<0.719	<0.815	検出限界未満
13	ウスメバル	青森県	青森県沖	4月5日	<0.738	<0.783	検出限界未満
14	ウスメバル	青森県	北海道・青森県沖	11月4日	<0.579	<0.705	検出限界未満
15	ウスメバル	青森県	青森県沖	12月16日	<0.824	<0.886	検出限界未満
16	カツオ	千葉県	千葉県沖	5月18日	<0.812	<0.891	検出限界未満
17	カツオ	宮城県	宮城県沖	6月10日	<0.712	<0.705	検出限界未満
18	カツオ	宮城県	宮城県沖	6月17日	<0.812	<0.617	検出限界未満
19	カツオ	宮城県	三陸南部沖	7月15日	<0.764	<0.977	検出限界未満
20	カツオ	千葉県	千葉県沖	7月22日	<0.694	<0.822	検出限界未満
21	カツオ	千葉県	千葉県沖	8月4日	<0.812	<0.750	検出限界未満
22	カツオ	宮城県	三陸南部沖	8月9日	<0.672	<0.698	検出限界未満
23	カツオ	宮城県	宮城県沖	8月12日	<0.723	<0.769	検出限界未満
24	カツオ	宮城県	三陸南部沖	8月26日	<0.706	<0.807	検出限界未満
25	カツオ	宮城県	宮城県沖	9月13日	<0.771	<0.729	検出限界未満
26	カツオ	宮城県	宮城県沖	9月21日	<0.794	<0.716	検出限界未満
27	カツオ	宮城県	宮城県沖	10月28日	<0.809	<0.797	検出限界未満
28	カツオ	千葉県	千葉県沖	1月20日	<0.674	<0.924	検出限界未満
29	カツオ	千葉県	千葉県沖	2月10日	<0.679	<0.815	検出限界未満
30	カツオ	千葉県	千葉県沖	2月16日	<0.657	<0.850	検出限界未満
31	カツオ	千葉県	千葉県沖	3月28日	<0.869	<0.830	検出限界未満

	買取品名	産地		買取日	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
32	カワハギ	神奈川県	神奈川県沖	1月27日	<0.835	<0.872	検出限界未満
33	キハダマグロ (ロイン)	千葉県	千葉県沖	8月9日	<0.802	<0.777	検出限界未満
34	ギンザケ (養殖)	宮城県	宮城県沖	4月26日	<0.870	<0.748	検出限界未満
35	ギンザケ (養殖)	宮城県	宮城県沖	5月13日	<0.596	<0.721	検出限界未満
36	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	4月14日	<0.720	<0.856	検出限界未満
37	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	10月7日	<0.662	<0.683	検出限界未満
38	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	11月1日	<0.763	<0.693	検出限界未満
39	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	11月22日	<0.944	<0.921	検出限界未満
40	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	12月2日	<0.659	<0.735	検出限界未満
41	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	3月17日	<0.958	<0.712	検出限界未満
42	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	3月30日	<0.758	<0.840	検出限界未満
43	クロマグロ (メジマグロ)	千葉県	千葉県沖	10月28日	<0.818	<0.976	検出限界未満
44	クロマグロ (メジマグロ)	宮城県	宮城県沖	1月10日	<0.726	<0.853	検出限界未満
45	ゴマサバ	青森県	青森県沖	9月30日	<0.647	<0.706	検出限界未満
46	サクラマス (ホンマス)	青森県	青森県沖	4月5日	<0.615	<0.928	検出限界未満
47	サクラマス (ホンマス)	北海道	北海道沖	4月26日	<0.651	<0.910	検出限界未満
48	サクラマス (ホンマス)	宮城県	宮城県沖	6月10日	<0.801	<0.855	検出限界未満
49	サクラマス (ホンマス)	青森県	青森県沖	2月24日	<0.627	<0.839	検出限界未満
50	サクラマス (ホンマス)	青森県	青森県沖	3月17日	<0.715	<0.878	検出限界未満
51	サケ(フィレ)	青森県	青森県沖	9月13日	<0.752	<0.954	検出限界未満
52	サケ(フィレ)	青森県	青森県沖	9月30日	<0.807	<0.898	検出限界未満
53	サワラ	青森県	青森県沖	5月18日	<0.677	<0.726	検出限界未満
54	サワラ	岩手県	三陸北部沖	7月15日	<0.639	<0.919	検出限界未満
55	サワラ	神奈川県	神奈川県沖	7月28日	<0.868	<1.09	検出限界未満
56	サワラ	岩手県	三陸北部沖	9月2日	<0.966	<0.843	検出限界未満
57	サワラ	岩手県	三陸北部沖	10月12日	<0.719	<0.963	検出限界未満
58	サワラ	岩手県	三陸北部沖	11月4日	<0.726	<0.766	検出限界未満
59	サワラ	岩手県	三陸北部沖	11月18日	<0.771	0.782	0.78
60	サワラ	千葉県	千葉県沖	12月27日	<0.729	<0.858	検出限界未満
61	シログチ (イシモチ)	千葉県	千葉県沖	4月26日	<0.841	1.03	1.0
62	シロゲンゲ	岩手県	三陸北部沖	12月9日	<0.623	<0.715	検出限界未満
63	ジンドウイカ (ヒイカ)	宮城県	宮城県沖	10月21日	<0.663	<0.544	検出限界未満
64	スケソウダラ	青森県	青森県沖	9月30日	<0.720	<0.801	検出限界未満

	買取品名	産地		買取日	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
65	スズキ	神奈川県	神奈川県沖	7月15日	<0.724	<0.842	検出限界未満
66	スズキ	神奈川県	神奈川県沖	12月27日	<0.780	0.978	0.98
67	スズキ	千葉県	千葉県沖	2月28日	<0.806	<0.896	検出限界未満
68	チダイ	宮城県	宮城県沖	7月22日	<0.742	<0.916	検出限界未満
69	チダイ	千葉県	千葉県沖	2月28日	<0.641	<0.865	検出限界未満
70	ネズミザメ (モウカザメ)	宮城県	宮城県沖	3月3日	<0.730	<1.00	検出限界未満
71	ババガレイ (ナメタカレイ)	宮城県	宮城県沖	4月14日	<0.608	<0.832	検出限界未満
72	ババガレイ (ナメタカレイ)	青森県	青森県沖	4月21日	<0.760	<0.869	検出限界未満
73	ババガレイ (ナメタカレイ)	青森県	青森県沖	6月17日	<0.694	<0.785	検出限界未満
74	ババガレイ (ナメタカレイ)	千葉県	千葉県沖	7月8日	<0.598	<0.922	検出限界未満
75	ババガレイ (ナメタカレイ)	青森県	青森県沖	11月22日	<0.719	<0.931	検出限界未満
76	ババガレイ (ナメタカレイ)	青森県	青森県沖	12月2日	<0.664	<0.908	検出限界未満
77	ババガレイ (ナメタカレイ)	北海道	北海道沖	12月16日	<0.715	<0.756	検出限界未満
78	ババガレイ (ナメタカレイ)	青森県	青森県沖	3月17日	<0.793	<0.824	検出限界未満
79	ババガレイ (ナメタカレイ)	青森県	青森県沖	3月28日	<0.758	<0.817	検出限界未満
80	ババガレイ (ナメタカレイ)	岩手県	三陸北部沖	3月30日	<0.731	<0.724	検出限界未満
81	ヒラソウダ (ソウダカツオ)	神奈川県	神奈川県沖	8月26日	<0.749	<0.786	検出限界未満
82	ヒラマサ	岩手県	岩手県沖	5月24日	<0.500	<0.760	検出限界未満
83	ヒラマサ	岩手県	岩手県沖	6月2日	<0.850	<0.812	検出限界未満
84	ヒラメ	青森県	青森県沖	4月5日	<0.690	<0.830	検出限界未満
85	ヒラメ	青森県	青森県沖	4月21日	<0.700	<0.641	検出限界未満
86	ヒラメ	北海道	北海道沖	6月7日	<0.800	<0.802	検出限界未満
87	ヒラメ	青森県	青森県沖	6月17日	<0.783	<0.818	検出限界未満
88	ヒラメ	青森県	青森県沖	9月13日	<0.507	<0.834	検出限界未満
89	ヒラメ	青森県	青森県沖	9月30日	<0.846	<0.892	検出限界未満
90	ヒラメ	岩手県	三陸北部沖	10月28日	<0.680	<0.876	検出限界未満
91	ヒラメ	青森県	青森県沖	11月1日	<0.776	<0.891	検出限界未満
92	ヒラメ	千葉県	千葉県沖	12月9日	<0.762	<0.931	検出限界未満
93	ビンチョウマグロ(ビンナ ガマグロ)	千葉県	千葉県沖	4月14日	<0.595	<0.858	検出限界未満
94	ビンチョウマグロ(ビンナ ガマグロ)	千葉県	千葉県沖	5月13日	<0.721	<0.806	検出限界未満
95	ビンチョウマグロ(ビンナ ガマグロ)	宮城県	宮城県沖	6月10日	<0.748	<0.889	検出限界未満
96	ブリ	青森県	青森県沖	5月13日	<0.748	<0.914	検出限界未満
97	ブリ	神奈川県	神奈川県沖	6月2日	<0.632	<0.922	検出限界未満

	買取品名	産地		買取日	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
98	ブリ	青森県	青森県沖	6月7日	<0.717	<0.923	検出限界未満
99	ブリ	神奈川県	神奈川県沖	7月15日	<0.739	<0.978	検出限界未満
100	ブリ	神奈川県	神奈川県沖	7月28日	<0.739	<0.823	検出限界未満
101	ブリ	岩手県	岩手県沖	8月12日	<0.894	<0.769	検出限界未満
102	ブリ	宮城県	三陸南部沖	8月26日	<0.737	<1.01	検出限界未満
103	ブリ	北海道	北海道沖	9月21日	<0.652	<0.832	検出限界未満
104	ブリ	宮城県	宮城県沖	10月12日	<0.799	<0.882	検出限界未満
105	ブリ	宮城県	宮城県沖	11月4日	<0.640	<0.864	検出限界未満
106	ホウボウ	千葉県	千葉県沖	4月14日	<0.839	1.01	1.0
107	マアジ	千葉県	千葉県沖	7月28日	<0.717	<0.926	検出限界未満
108	マアジ	神奈川県	神奈川県沖	8月26日	<0.780	<0.875	検出限界未満
109	マアジ	茨城県	日立・鹿島沖	9月2日	<0.835	<1.02	検出限界未満
110	マアジ	神奈川県	神奈川県沖	12月27日	<0.684	<0.833	検出限界未満
111	マイワシ	岩手県	岩手県沖	5月24日	<0.758	<0.704	検出限界未満
112	マイワシ	北海道	根室沖	7月22日	<0.662	<0.851	検出限界未満
113	マイワシ	青森県	青森県沖	10月7日	<0.643	<0.740	検出限界未満
114	マイワシ	宮城県	宮城県沖	12月2日	<0.747	<0.902	検出限界未満
115	マカジキ	宮城県	宮城県沖	5月24日	<0.655	<0.764	検出限界未満
116	マガレイ	宮城県	宮城県沖	8月12日	<0.532	<0.761	検出限界未満
117	マコガレイ	青森県	青森県沖	6月7日	<0.674	<0.921	検出限界未満
118	マコガレイ	青森県	青森県沖	11月1日	<0.871	<1.13	検出限界未満
119	マコガレイ	青森県	青森県沖	11月22日	<0.905	<1.02	検出限界未満
120	マコガレイ	青森県	青森県沖	2月24日	<0.629	<0.739	検出限界未満
121	マコガレイ	青森県	青森県沖	3月17日	<0.799	<0.742	検出限界未満
122	マコガレイ	青森県	青森県沖	3月28日	<0.734	<0.965	検出限界未満
123	マゴチ	千葉県	千葉県沖	7月8日	<0.761	<0.811	検出限界未満
124	マサバ	神奈川県	神奈川県沖	7月28日	<0.616	<0.892	検出限界未満
125	マサバ	青森県	青森県沖	9月13日	<0.669	<0.956	検出限界未満
126	マサバ	宮城県	宮城県沖	10月12日	<0.673	<0.925	検出限界未満
127	マサバ	宮城県	宮城県沖	1月10日	<0.796	<0.815	検出限界未満
128	マサバ	千葉県	千葉県沖	2月16日	<0.708	<0.806	検出限界未満
129	マサバ	神奈川県	神奈川県沖	2月28日	<0.747	<0.888	検出限界未満
130	マサバ	神奈川県	神奈川県沖	3月3日	<0.901	<0.872	検出限界未満

	買取品名	産地		買取日	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
131	マダイ	青森県	青森県沖	5月10日	<0.668	<0.783	検出限界未満
132	マダイ	岩手県	岩手県沖	5月24日	<0.700	<0.829	検出限界未満
133	マダイ	岩手県	岩手県沖	6月2日	<0.785	<0.904	検出限界未満
134	マダイ	青森県	青森県沖	8月4日	<0.652	<0.784	検出限界未満
135	マダイ	千葉県	千葉県沖	11月18日	<0.764	<0.935	検出限界未満
136	マダイ	宮城県	宮城県沖	12月9日	<0.795	<0.827	検出限界未満
137	マダイ	千葉県	千葉県沖	1月10日	<0.820	<0.832	検出限界未満
138	マダイ	千葉県	千葉県沖	1月27日	<0.865	0.919	0.919
139	マダイ	千葉県	千葉県沖	3月30日	<0.627	<0.933	検出限界未満
140	マダラ	岩手県	三陸北部沖	9月21日	<0.596	<0.833	検出限界未満
141	マダラ	青森県	青森県沖	10月21日	<0.676	<0.761	検出限界未満
142	マダラ	岩手県	三陸北部沖	10月28日	<0.705	<0.762	検出限界未満
143	マダラ	北海道	北海道沖	11月4日	<0.800	<0.803	検出限界未満
144	マダラ	青森県	青森県沖	1月6日	<0.737	<0.786	検出限界未満
145	マダラ	青森県	青森県沖	1月20日	<0.728	<0.829	検出限界未満
146	マナマコ (アカナマコ)	神奈川県	神奈川県沖	3月30日	<0.939	<0.848	検出限界未満
147	ミズダコ	青森県	青森県沖	4月21日	<0.759	<0.634	検出限界未満
148	ミズダコ	青森県	青森県沖	5月10日	<0.624	<0.704	検出限界未満
149	ミズダコ	青森県	青森県沖	5月18日	<0.695	<0.749	検出限界未満
150	ミズダコ	青森県	青森県沖	6月7日	<0.554	<0.814	検出限界未満
151	ミズダコ	青森県	青森県沖	6月17日	<0.749	<0.879	検出限界未満
152	ミズダコ	青森県	青森県沖	7月22日	<0.852	<0.757	検出限界未満
153	ミズダコ	青森県	青森県沖	8月4日	<0.864	<0.803	検出限界未満
154	ミズダコ	青森県	青森県沖	11月22日	<0.743	<0.918	検出限界未満
155	ミズダコ	青森県	青森県沖	12月16日	<0.656	<0.705	検出限界未満
156	ミズダコ	青森県	青森県沖	1月6日	<0.689	<0.754	検出限界未満
157	ミズダコ	青森県	青森県沖	1月20日	<0.649	<0.739	検出限界未満
158	ミズダコ	青森県	青森県沖	2月24日	<0.873	<0.703	検出限界未満
159	メカジキ	宮城県	宮城県沖	4月5日	<0.639	<0.866	検出限界未満
160	メカジキ	宮城県	宮城県沖	4月21日	<0.865	<0.706	検出限界未満
161	メカジキ	宮城県	宮城県沖	5月10日	<0.733	<0.727	検出限界未満
162	メカジキ	宮城県	宮城県沖	5月18日	<0.639	<0.857	検出限界未満
163	メカジキ	宮城県	宮城県沖	7月8日	<0.731	<0.877	検出限界未満

	買取品名	産地		買取日	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
164	メカジキ	宮城県	宮城県沖	8月4日	<0.873	<0.862	検出限界未満
165	メカジキ	宮城県	気仙沼沖	8月9日	<0.708	<0.809	検出限界未満
166	メカジキ	宮城県	宮城県沖	9月2日	<0.686	<0.648	検出限界未満
167	メカジキ	宮城県	宮城県沖	10月21日	<0.711	<0.827	検出限界未満
168	メカジキ	宮城県	宮城県沖	11月1日	<0.473	<0.817	検出限界未満
169	メカジキ	宮城県	宮城県沖	12月2日	<0.885	<0.831	検出限界未満
170	メカジキ	宮城県	宮城県沖	12月16日	<0.643	<0.728	検出限界未満
171	メカジキ	宮城県	宮城県沖	12月27日	<0.817	<0.849	検出限界未満
172	メカジキ	宮城県	宮城県沖	1月27日	<0.683	<0.654	検出限界未満
173	メカジキ	宮城県	宮城県沖	2月10日	<0.736	<0.820	検出限界未満
174	ヤリイカ	青森県	青森県沖	5月13日	<0.851	<0.939	検出限界未満
175	ヤリイカ	青森県	青森県沖	10月7日	<0.749	<0.912	検出限界未満
176	ヤリイカ	青森県	青森県沖	1月20日	<0.911	<0.804	検出限界未満
177	ワカメ	神奈川県	神奈川県沖	1月27日	<1.05	<1.32	検出限界未満
178	ワカメ	神奈川県	神奈川県沖	2月16日	<1.01	<1.04	検出限界未満
179	ワカメ	神奈川県	神奈川県沖	2月16日	<1.13	<1.05	検出限界未満
180	ワカメ	神奈川県	神奈川県沖	3月3日	<0.922	<1.19	検出限界未満

イ 農産物(市場買取分)

単位:Bq/kg

	買取品名	産地	買取日	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
1	アンデスメロン	山形県	7月1日	<0.886	<0.695	検出限界未満
2	イチゴ	栃木県	4月8日	<0.683	<0.841	検出限界未満
3	イチゴ	栃木県	12月14日	<0.653	<0.825	検出限界未満
4	イチゴ	栃木県	2月2日	<0.834	<0.718	検出限界未満
5	キャベツ	岩手県	6月29日	<0.725	<0.748	検出限界未満
6	キャベツ	岩手県	8月19日	<0.714	<0.771	検出限界未満
7	キャベツ	岩手県	10月14日	<0.666	<0.754	検出限界未満
8	キャベツ	神奈川県	12月14日	<0.722	<0.775	検出限界未満
9	キャベツ	茨城県	2月2日	<0.845	<0.878	検出限界未満
10	キュウリ	埼玉県	4月8日	<0.650	<0.939	検出限界未満
11	キュウリ	福島県	5月31日	<0.691	<0.818	検出限界未満
12	キュウリ	岩手県	6月29日	<0.718	<0.712	検出限界未満
13	キュウリ	福島県	7月1日	<0.707	<0.714	検出限界未満
14	キュウリ	岩手県	8月19日	<0.720	<0.851	検出限界未満
15	キュウリ	福島県	9月15日	<0.623	<0.806	検出限界未満
16	キュウリ	埼玉県	10月14日	<0.671	<0.674	検出限界未満
17	キュウリ	群馬県	3月10日	<0.740	<0.841	検出限界未満
18	サツマイモ	茨城県	4月8日	<0.690	<0.901	検出限界未満
19	サツマイモ	茨城県	12月14日	<0.685	<0.821	検出限界未満
20	シイタケ	岩手県	2月2日	<0.751	<0.793	検出限界未満
21	スナップエンドウ	福島県	5月31日	<0.681	<0.825	検出限界未満
22	チンゲンサイ	茨城県	5月31日	<0.849	<0.845	検出限界未満
23	チンゲンサイ	茨城県	1月13日	<0.927	<0.85	検出限界未満
24	トマト	福島県	7月1日	<0.811	<0.783	検出限界未満
25	トマト	福島県	9月15日	<0.610	<0.83	検出限界未満
26	ナス	神奈川県	8月19日	<0.657	<0.871	検出限界未満
27	ニラ	茨城県	6月29日	<0.873	<0.859	検出限界未満
28	ニラ	茨城県	8月19日	<0.974	<0.728	検出限界未満
29	ニラ	茨城県	10月14日	<0.935	<0.714	検出限界未満
30	ニラ	福島県	11月25日	<0.767	<0.983	検出限界未満
31	ネギ	茨城県	5月31日	<0.793	<0.699	検出限界未満

	買取品名	産地	買取日	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
32	ネギ	福島県	1月13日	<0.955	<1.23	検出限界未満
33	ネギ	福島県	3月10日	<0.852	<0.858	検出限界未満
34	ハクサイ	茨城県	11月25日	<0.650	<0.709	検出限界未満
35	ピーマン	福島県	9月15日	<0.943	<0.913	検出限界未満
36	ブドウ	山形県	9月15日	<0.862	<0.733	検出限界未満
37	ブロッコリー	埼玉県	4月8日	<0.851	<0.835	検出限界未満
38	ラ・フランス	山形県	11月25日	<0.606	<0.765	検出限界未満
39	レタス	茨城県	1月13日	<0.892	<0.792	検出限界未満
40	レタス	茨城県	3月10日	<0.614	<0.808	検出限界未満

ウ 量販店等流通販売品（区福祉保健センター等依頼検査分）

単位:Bq/kg

	買取品目	産地	適用基準	買取日	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
1	精米	茨城県	一般食品	6月27日	<0.825	<0.772	検出限界未満
2	精米		一般食品	8月8日	<0.695	<0.577	検出限界未満
3	清酒		一般食品	8月16日	<0.990	<0.761	検出限界未満
4	ぶどうジュース	岩手県	一般食品	9月12日	<0.815	<0.704	検出限界未満
5	ブリ切身	宮城県	一般食品	10月31日	<0.695	<0.798	検出限界未満
6	精米	宮城県	一般食品	11月7日	<0.771	<0.776	検出限界未満
7	清酒		一般食品	11月21日	<0.834	<0.807	検出限界未満
8	精米	栃木県	一般食品	1月30日	<0.974	<0.937	検出限界未満
9	鰹節	宮城県	一般食品	1月31日	<1.12	1.81	1.8
10	味噌	福島県	一般食品	1月31日	<0.624	<0.712	検出限界未満
11	うどん	福島県	一般食品	1月31日	<0.914	<0.835	検出限界未満
12	モモジュース	山形県	一般食品	1月31日	<0.798	<0.869	検出限界未満
13	レンコン	茨城県	一般食品	1月31日	0.911	4.88	5.8
14	トマトジュース	福島県	一般食品	1月31日	<0.845	<0.827	検出限界未満
15	そば	福島県	一般食品	1月31日	<0.790	<0.678	検出限界未満
16	塩蔵ワラビ	福島県	一般食品	1月31日	<0.685	2.37	2.4
17	塩蔵山フキ	福島県	一般食品	1月31日	<0.804	<0.707	検出限界未満
18	しそジュース	宮城県	一般食品	1月31日	<0.923	<0.771	検出限界未満
19	牛乳	神奈川県	牛乳	6月27日	<0.724	<0.734	検出限界未満
20	乳飲料		牛乳	6月27日	<0.760	<0.735	検出限界未満
21	牛乳	岩手県	牛乳	8月8日	<0.716	<0.719	検出限界未満
22	牛乳		牛乳	8月8日	<0.722	<0.800	検出限界未満
23	牛乳		牛乳	8月16日	<0.668	<0.808	検出限界未満
24	牛乳		牛乳	8月16日	<0.757	<0.822	検出限界未満
25	牛乳	福島県	牛乳	9月12日	<0.878	<0.718	検出限界未満
26	乳飲料		牛乳	9月12日	<0.743	<0.798	検出限界未満
27	牛乳		牛乳	10月31日	<0.660	<0.784	検出限界未満
28	牛乳		牛乳	10月31日	<0.623	<0.759	検出限界未満
29	牛乳		牛乳	11月7日	<0.689	<0.766	検出限界未満
30	乳飲料		牛乳	11月7日	<0.686	<0.656	検出限界未満

	買取品目	産地	適用基準	買取日	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
31	牛乳		牛乳	11月21日	<0.801	<0.792	検出限界未満
32	乳飲料		牛乳	11月21日	<0.725	<0.765	検出限界未満
33	牛乳	長野県	牛乳	1月30日	<0.738	<0.74	検出限界未満
34	牛乳		牛乳	1月30日	<0.571	<0.761	検出限界未満
35	調製粉乳		乳児用食品	6月27日	<1.54	<1.52	検出限界未満
36	さつまいも煮		乳児用食品	6月27日	<2.59	<2.28	検出限界未満
37	ラトウイユ		乳児用食品	8月8日	<2.58	<2.52	検出限界未満
38	調製粉乳		乳児用食品	8月8日	<1.49	<1.38	検出限界未満
39	調製粉乳		乳児用食品	8月16日	<1.37	<1.51	検出限界未満
40	調製粉乳		乳児用食品	8月16日	<1.47	<1.49	検出限界未満
41	炊き込みごはん		乳児用食品	9月12日	<2.30	<2.25	検出限界未満
42	りんご果汁入り飲料		乳児用食品	9月12日	<0.749	<0.828	検出限界未満
43	調製粉乳		乳児用食品	10月26日	<1.39	<1.34	検出限界未満
44	おかゆ		乳児用食品	10月26日	<2.43	<2.23	検出限界未満
45	調製粉乳		乳児用食品	11月7日	<1.64	<1.56	検出限界未満
46	炊き込みごはん		乳児用食品	11月7日	<2.53	<2.89	検出限界未満
47	イオン飲料		乳児用食品	11月21日	<0.712	<0.802	検出限界未満
48	すき焼き風煮		乳児用食品	11月21日	<2.42	<2.41	検出限界未満
49	調製粉乳	栃木県	乳児用食品	1月30日	<5	<5	検出限界未満
50	清涼飲料水		乳児用食品	1月30日	<0.733	<0.789	検出限界未満

エ 学校給食

単位:Bq/kg

	品目	産地	適用基準	採取日	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
1	牛乳	-	牛乳	11月21日	< 0.615	< 0.883	検出限界未満
2	牛乳	-	牛乳	11月21日	< 0.956	< 0.802	検出限界未満
3	はい芽米	-	一般食品	11月21日	< 0.721	< 0.785	検出限界未満
4	米	-	一般食品	11月22日	< 0.532	< 0.853	検出限界未満

(4) 残留農薬

ア 国産品(市場収去分)

	農産物名	生産地	検体数	検出検体内容	
				検出 検体数	検出値ppm(残留基準値)
1	アスパラガス	山形県	1	0	
2	イチゴ	茨城県	1	1	マイクロブタニル0.1(1以下)
		栃木県	1	1	エトキサゾール0.18(0.5以下)
3	オクラ	香川県	1	0	
4	オレンジ	静岡県	1	1	フェンプロパトリン0.11(5以下) メチダチオン0.1(5以下)
5	カキ	和歌山県	1	1	テブコナゾール0.12(1以下)
6	カリフラワー	神奈川県	2	0	
7	キャベツ	神奈川県	3	0	
		茨城県2(0)	2	0	
		群馬県1(1)	1	1	プロシミドン0.01(2以下)
		長野県1(0)	1	0	
8	キュウリ	神奈川県	4	2	クロチアニジン0.02(2以下) メタラキシル及びメフェノキサム0.02(1以下)
		岩手県	2	2	アゾキシストロビン0.02(1以下) クロルフェナピル0.03(0.5以下)
		群馬県	2	1	ボスカリド0.07(5以下)
		福島県	2	1	アゾキシストロビン0.08(1以下)
		埼玉県	1	1	プロシミドン0.04(5以下)
		山形県	1	0	
9	サクランボ	山形県	1	1	クロチアニジン0.06(5以下) チアメトキサム0.44(5以下) テブコナゾール0.36(5以下) ビフェントリン0.05(2以下) フェンブコナゾール0.15(1以下) フェンヘキサミド1.72(10以下)
10	サツマイモ	茨城県	2	0	
		千葉県	3	0	
		神奈川県	1	0	
11	サトイモ	神奈川県	1	0	
12	シシトウ	山形県	1	0	
13	ジャガイモ	北海道	1	0	
14	スイカ	千葉県	2	1	プロシミドン0.02(3以下)
15	ズッキーニ	長野県	1	0	
16	ダイコン	神奈川県	4	0	
17	タマネギ	神奈川県	1	0	
		兵庫県	1	0	

	農産物名	生産地	検体数	検出検体内容	
				検出 検体数	検出値ppm(残留基準値)
18	チンゲンサイ	茨城県	5	0	
19	トウガン	神奈川県	2	0	
		愛知県	1	0	
20	トマト	神奈川県	3	2	ブプロフェジン0.03(1以下)
					プロシミドン0.09(5以下)
					ボスカリド0.11(5以下)
		千葉県	3	2	フルフェノクスロン0.02(0.5以下)
					ボスカリド0.05(5以下)
		熊本県	1	0	
山形県	1	0			
福島県	1	0			
21	ナシ	茨城県	1	1	クレゾキシムメチル0.03(5以下) クロルフェナピル0.02(1以下) シラフルオフェン0.01(1以下) ボスカリド0.01(3以下)
		福島県	1	1	クレゾキシムメチル0.01(5以下)
22	ナス	神奈川県	2	0	
		栃木県	1	0	
23	ニラ	茨城県	2	2	アゾキシストロビン0.03(70以下)
					クロチアニジン0.13(15以下)
					プロチオホス0.02(0.1以下)
24	ニンジン	千葉県	2	0	
25	ネギ	千葉県	2	2	プロシミドン0.13(5以下) チアメキサム0.01(2以下)
		山形県	2	0	
26	ハクサイ	茨城県	1	0	
		長野県	1	1	ボスカリド0.03(40以下)
27	ピーマン	茨城県	2	2	クレゾキシムメチル0.02(2以下)
					ボスカリド0.04(10以下)
					アゾキシストロビン0.01(3以下)
28	ブドウ	山梨県	2	0	
29	ハウレンソウ	茨城県	1	0	
		群馬県	1	1	ブプロフェジン0.02(*0.01以下) フルフェノクスロン0.02(10以下)
30	ミカン	静岡県	2	0	
		愛媛県	1	0	
		宮崎県	1	0	
		和歌山県	1	0	

	農産物名	生産地	検体数	検出検体内容	
				検出 検体数	検出値ppm(残留基準値)
31	メロン	茨城県	1	1	プロシミドン0.02(3以下)
		千葉県	1	1	イミダクロプリド0.01(0.4以下)
32	モモ	山梨県	1	0	
33	リンゴ	青森県	1	0	
34	レタス	茨城県	5	1	クロチアニジン0.02(20以下) チアメキサム0.2(3以下)
		長野県	2	1	トルクロホスメチル0.01(2.0以下)
		群馬県	1	1	ボスカリド0.01(40以下)
35	レモン	熊本県	1	0	
36	レンコン	茨城県	2	0	
合計			104	33	

イ 国産品(区福祉保健センター等依頼検査分)

	農産物名	生産地	検体数	検出検体内容	
				検出 検体数	検出値ppm(残留基準値)
1	カブの根	神奈川県	1	0	
2	カブの葉	神奈川県	1	0	
3	カボチャ	神奈川県	1	0	
4	キャベツ	神奈川県	1	0	
		群馬県	1	0	
		岩手県	1	1	チアメキサム0.01(5以下)
		千葉県	1	0	
5	キュウリ	神奈川県	3	1	クロチアニジン0.04(2以下)
6	サツマイモ	茨城県	2	0	
		神奈川県	1	0	
7	サトイモ	神奈川県	1	0	
8	ジャガイモ	神奈川県	2	0	
9	ダイコン	北海道	2	0	
10	トウガン	神奈川県	2	0	
11	トマト	神奈川県	1	0	
		熊本県	1	1	ボスカリド0.03(5以下)
		青森県	1	1	アゾキシストロビン0.02(3以下)
12	ナシ	栃木県	1	0	
13	ナス	神奈川県	2	1	アゾキシストロビン0.02(3以下) チアメキサム0.03(0.7以下)
14	ニンジン	北海道	1	0	
合計			27	5	

ウ 輸入品(市場収去分)

	農産物名	生産地	検体数	検出検体内容	
				検出 検体数	検出値ppm(残留基準値)
1	オレンジ	アメリカ	2	0	
2	グレープフルーツ	南アフリカ共和国	3	3	イマザリル(残農として)2.46(5.0以下)
					チアベンダゾール(残農として)0.82(10以下)
					トリフロキシストロビン0.03(0.5以下)
		イマザリル(残農として)0.41(5.0以下)			
クロルピリホス0.02(1以下)					
イマザリル(残農として)2.1(5.0以下)					
クロルピリホス0.01(1以下)					
アメリカ	2	2	クロルピリホス0.04(1以下)		
フェンプロパトリン0.03(5以下)					
フェンプロパトリン0.07(5以下)					
3	パイナップル	フィリピン	1	0	
台湾		1	0		
4	バナナ	エクアドル	1	0	
		メキシコ	1	0	
5	パプリカ	韓国	1	0	
6	メロン	メキシコ	1	1	イミダクロプリド0.01(0.4以下)
7	ライム	メキシコ	1	0	
8	レモン	アメリカ	1	1	フルジオキシニル0.17(10以下)
		チリ	1	1	イマザリル(残農として)1.07(5.0以下)
					クロルピリホス0.04(1以下)
					チアベンダゾール(残農として)0.14(10以下)
					フルジオキシニル1.4(10以下)
合計			16	8	

エ 輸入品(区福祉保健センター等依頼検査分)

	農産物名	生産地	検体数	検出検体内容	
				検出 検体数	検出値ppm(残留基準値)
1	ハウレンソウ	中国	1	0	
合計			1	0	

残留農薬検査項目

	農薬名		農薬名		農薬名		農薬名		農薬名
1	2-(1-ナフチル)アセタミド	56	キナルホス	111	ジメトン-S-メチル	166	ピリダフェンチオン	221	プロバニル
2	4_CPA	57	キノキシフェン	112	ジメベピラート	167	ピリフェックス	222	プロバホス
3	BHC	58	キノクラミン	113	シラフルオフェン	168	ピリフタリド	223	プロバルギット
4	DDT	59	キントゼン	114	スピノサド	169	ピリプチカルブ	224	プロビザミド
5	EPN	60	クミルロン	115	スピロキサミン	170	ピリプロキシフェン	225	プロビドロジャスモン
6	MCPB	61	クレソキシムメチル	116	スルフェントラゾン	171	ピリミカーブ	226	プロフェノホス
7	TCMTB	62	クロプリネート	117	ターバシル	172	ピリミノバックメチル	227	プロボキスル
8	XMC	63	クロチアエニジン	118	ダイアジノン	173	ピリミホスメチル	228	プロマシル
9	アイオキシニル	64	クロフェンゾン	119	ダイムロン	174	ピリメタニル	229	プロメトリン
10	アクリナトリン	65	クロプロップ	120	チアクロプリド	175	ピロキロン	230	プロモキシニル
11	アザコナゾール	66	クロマゾン	121	チアベンダゾール	176	ピンクログリン	231	プロモプロピレート
12	アシフルオルフェン	67	クロマフェノジド	122	チアメキサム	177	フィプロニル	232	プロモホスエチル
13	アジンホスメチル	68	クロメプロップ	123	チオベンカルブ	178	フェナミホス	233	プロモホスメチル
14	アセトクロール	69	クロラズラムメチル	124	チオメトン	179	フェナリモル	234	フロラズラム
15	アゾキシストロビン	70	クロリダゾン	125	チフルザミド	180	フェニトロチオン	235	ヘキサコナゾール
16	アトラジン	71	クロリムロンエチル	126	テクナゼン	181	フェノキサニル	236	ヘキサジノン
17	アニコホス	72	クロルエトキシホス	127	テトラクロルピリンホス	182	フェノキシカルブ	237	ヘキサフルムロン
18	アモトリン	73	クロルタールジメチル	128	テトラコナゾール	183	フェノチオカルブ	238	ヘキシチアゾクス
19	アラクロー	74	クロルピリホス	129	テトラジホソ	184	フェノトリン	239	バナラキシル
20	アラマト	75	クロルピリホスメチル	130	テニルクロール	185	フェノブカルブ	240	バノキサコール
21	イサゾホス	76	クロルフェナビル	131	テブコナゾール	186	フェンアミドン	241	バノキスラム
22	イソキサチオン	77	クロルプロファム	132	テブチウロン	187	フェンクロルホス	242	バルタン
23	イソキサチオンオキソン	78	クロクソロン	133	テブフェノジド	188	フェントエート	243	バンシクロ
24	イソフェンホス	79	クロネブ	134	テブフェンピラド	189	フェンブコナゾール	244	バンスルフロメチル
25	イソプロカルブ	80	クロペンジレート	135	テフルトリン	190	フェンブロバトリン	245	バンゾフェナップ
26	イソプロチオラン	81	シアナジン	136	デルタメトリン及びトラロメトリン	191	フェンプロビモルフ	246	バンダイオカルブ
27	イプロジオン	82	シアノホス	137	テルアトリン	192	フェンヘキサミド	247	バンディメタリン
28	イプロバリカルブ	83	ジウロン	138	テルブホス	193	フサライド	248	バンフルラリン
29	イプロベンホス	84	シクラニド	139	トリアレート	194	ブタクロール	249	バンフレセート
30	イマザリル	85	シクロエート	140	トリクロビル	195	ブタミホス	250	ボスカリド
31	イミダクロプリド	86	ジクロスラム	141	トリシラゾール	196	ブピリメート	251	ホスメット
32	イメコナゾール	87	シクロスルファミロン	142	トリチコナゾール	197	ブプロフェジン	252	ホメサフェン
33	インドキサカルブ	88	ジクロトホス	143	トリデモルフ	198	フラザルフロソ	253	ホルクロルフェニユロン
34	エスプロカルブ	89	ジクロフェンチオン	144	トリブホス	199	フラムプロップメチル	254	ホルモチオン
35	エタメソルフロメチル	90	ジクロホップメチル	145	トリフルムロン	200	フラメビル	255	ホレート
36	エタルフルラリン	91	ジクロメジン	146	トリフルラリン	201	フルアクリピリム	256	マラチオン
37	エチオフェンカルブ	92	ジクロラン	147	トリフロキシストロビン	202	フルキンコナゾール	257	ミクロブタニル
38	エチオン	93	ジクロルプロップ	148	トルクロホスメチル	203	フルジオキシニル	258	メカルバム
39	エトキサゾール	94	ジクロロペンゾフェノン	149	ナブタラム	204	フルシラゾール	259	メソスルフロメチル
40	エトキシスルフロソ	95	ジスルホソ	150	ナブアニリド	205	フルトラニル	260	メタベンズチアズロン
41	エトフェンブロックス	96	シニドンエチル	151	ナブロバミド	206	フルトリアホール	261	メタラキシル及びメフェノキサム
42	エトフメセート	97	シハロホップチル	152	ニトロタールイソプロビル	207	フルバリネート	262	メチダチオン
43	エトプロホス	98	ジフェナミド	153	バクプロトラゾール	208	フルフェナセット	263	メキシクロール
44	エトリムホス	99	シフルフェナミド	154	バラチオン	209	フルフェノクスロン	264	メキシフェノジド
45	エンドスルファン	100	ジフルフェニカン	155	バラチオンメチル	210	フルフェンビルエチル	265	メスラム
46	エンドリン	101	ジフルベンズロン	156	ハロキシホップ	211	フルミオキサジン	266	メブレン
47	オキサジアゾン	102	シプロジニル	157	ハロスルフロメチル	212	フルミクロラックペンチル	267	メトミノストロビン
48	オキサジキシル	103	シメコナゾール	158	ピコリナフェン	213	フルメツラム	268	メトラクロール
49	オキサジクロメホソ	104	ジメタメトリン	159	ピフェノックス	214	フルリドン	269	メベンホス
50	オキシフルオルフェン	105	ジメチピン	160	ピフェントリン	215	プレチラクロール	270	メフェンビルジエチル
51	オリザリン	106	ジメチリモール	161	ピベロホス	216	プロシミドン	271	モノクロトホス
52	カズサホス	107	ジメテナミド	162	ピラクロストロビン	217	プロチオホス	272	モノリニユロン
53	カルバリル	108	ジメトエート	163	ピラゾスルフロソエチル	218	プロバキサホップ	273	リニユロン
54	カルフェントラゾンエチル	109	ジメモルフ	164	ピラゾホス	219	プロバクロー	274	リンデン
55	カルプロバミド	110	シメトリン	165	ピラフルフェンエチル	220	プロバジン	275	ルフェヌロン

※農作物によって検査項目は異なります。

(5)防ばい剤

単位:g/kg

品 種	検体数	O P P		D P		T B Z		イマザリル	
		検出数	検出範囲	検出数	検出範囲	検出数	検出範囲	検出数	検出範囲
バナナ	1	0		0		0		0	
グレープフルーツ	3	0		0		0		0	
レモン	1	0		0		0		0	
合 計	5	0		0		0		0	

(6) 抗生物質、合成抗菌剤、内寄生虫用剤

品名	抗生物質		合成抗菌剤等	
	検体数	検出数	検体数	検出数
うなぎ蒲焼	5	0	5	0
冷凍エビ	6	0	6	0
鶏卵	10	0	10	0
シマアジ(養殖)	1	0	1	0
ヒラメ(養殖)	1	0	1	0
ブリ(養殖)	1	0	1	0
マダイ(養殖)	2	0	2	0
合計	26	0	26	0

抗生物質検査項目

オキシテトラサイクリン	クロルテトラサイクリン	テトラサイクリン
-------------	-------------	----------

合成抗菌剤、内寄生虫用剤検査項目

クロビドール	モランテル	スルファメキサゾール
クロルスロン	マルボフロキサシン	スルファメキシピリダジン
ダノフロキサシン	ナリジクス酸	スルファジメキシム
デキサメタゾン	ナイカルバジン	スルファメキシジアジン
ジアベリジン	オフロキサシン	スルファモノメキシム
ジクラズリル	オルビフロキサシン	スルファニトラン
ジシクラニル	オルメプリム	スルファピリジン
ジフロキサシン	オキシロニック酸	スルファキノキサリン
エンフロキサシン *1	ピロミド酸	スルファチアゾール
エリスロマイシン	ピランテル	スルファトロキサゾール
エトパベート	ピリメタミン	スルフィソゾール
ファムフル	サラフロキサシン	チアベンダゾール *3
フェノブカルブ	スピラマイシン *2	チアンフェニコール
フロルフエニコール	スルファプロモメタジン	チアムリン
フルベンダゾール	スルファセタミド	トリメプリム
フルメキン	スルファジアジン	タイロシン
レバミゾール	スルファジミジン	キシラジン
リンコマイシン	スルファエトキシピリダジン	
メベンダゾール	スルファメラジン	

*1 エンフロキサシン及びその代謝物であるシプロフロキサシンの和

*2 スピラマイシン I 及びネオスピラマイシン I の和

*3 畜水産物:チアベンダゾール及び5-ヒドロキシチアベンダゾールの和

その他の食品:チアベンダゾールのみ

検査項目は検体により異なります

(7)水銀

単位:ppm

魚 種	総 水 銀			メチル水銀	
	検体数	検出数	検 出 範 囲	検体数	検出数
ア オ ダ イ	1	1	0.05	0	
ア カ カ マ ス	2	2	0.05~0.18	0	
ア カ メ バ ル	2	2	0.04~0.05	0	
イ サ キ	1	1	0.11	0	
イ ト ヨ リ ダ イ	1	1	0.10	0	
ウ ス メ バ ル	1	1	0.04	0	
カ ツ オ *	1	1	0.12	0	
ク ロ ガ レ イ	1	1	0.01	0	
ク ロ ダ イ	1	1	0.21	0	
サ ワ ラ	2	2	0.02~0.03	0	
シ マ ア ジ	1	1	0.20	0	
シログチ(イシモチ)	1	1	0.15	0	
チダイ(ハナダイ)	1	1	0.26	0	
ハ タ ハ タ	1	1	0.06	0	
ババガレイ(ナメタガレイ)	1	1	0.06	0	
ヒ ラ マ サ	1	1	0.19	0	
ヒ ラ メ	3	3	0.04~0.19	0	
ブ リ (イ ナ ダ)	5	5	0.03~0.14	0	
ホ ウ ボ ウ	1	1	0.08	0	
マ ア ジ	4	3	0.02~0.06	0	
マ イ ワ シ	2	2	0.01~0.02	0	
マ サ バ	1	1	0.16	0	
マ ダ イ	3	3	0.16~0.29	0	
マ ト ウ ダ イ	1	1	0.23	0	
マ ナ ガ ツ オ	1	1	0.04	0	
合 計	40	39		0	

* 暫定的規制値適用外魚種

(8)PCB

単位:ppm

魚 種	検体数	検出数	検出範囲
アカカマス	1	1	0.03
イトヨリダイ	1	0	
ウスメバル	1	0	
シログチ	1	0	
ヒラマサ	1	0	
ヒラメ	1	0	
ブリ	1	0	
マアジ	1	0	
マアジ	1	0	
マナガツオ	1	0	
合計	10	1	

(9) 貝毒

(単位:MU/g)

(単位:mgOA当量/kg)

品名	形態	麻痺性貝毒			下痢性貝毒		
		検体数	検出数	検出範囲	検体数	検出数	検出範囲
アカガイ	殻付	7	0		7	0	
アサリ	むき身	5	0		5	3	0.02~0.06
ハマグリ	殻付	7	0		7	0	
ホタテガイ	殻付	14	0		14	2	0.08~0.15
合計		33	0		33	5	

(10) ふぐ毒及び魚種鑑別

種類 (表示)	ふぐ毒		魚種鑑別	
	検体数	検査結果	検体数	検査結果
シロサバフグ	1	5.25MU/g未満	1	表示どおり
トラフグ	2	5.25MU/g未満	2	表示どおり
ナシフグ	2	5.25MU/g未満	0	
マフグ	1	5.25MU/g未満	0	
コモンフグ	1	5.25MU/g未満	0	
ゴマフグ	1	5.25MU/g未満	0	

6 違反食品等

番号	食品	違反等の内容		措置内容
1	ほうれんそう	食品衛生法第11条第3項違反	ブプロフェジン 0.02ppm検出 (基準値 0.01ppm (残留農薬の一律基準))	産地を所管する自治体へ通報
2	ゼリー	洋生菓子の衛生規範不適合	大腸菌群陽性	製造所を監視指導、口頭説諭
3	サンドイッチ	弁当及びそうざいの衛生規範不適合	生菌数 1000万/g	製造所を監視指導、指導票交付
4	パウンドケーキ	食品表示法第5条違反	製造者所在地の誤記載	指導票交付
5	生食用かき	食品衛生法第11条第2項違反	E. coli 最確数 1700/100g (基準値 230以下/100g)	加工所を所管する自治体へ通報
6	ほたるいか塩辛	食品表示法第5条違反	添加物名称の誤記載	製造所を所管する自治体へ通報

7 相談対応(主な事例)

番号	概要	調査結果
1	棒かまぼこ中に黒色の異物が混入していた。	異物は茶褐色で弾力性のある直径約1mm程度の塊であり、見た目は揚げ物の一部であった。異物と棒かまぼこの一部を火で燃やすと、共に同様の香ばしい臭気があり、バチバチという油がはじける音を確認した。よって、当該異物は揚げ物の一部ではないかと推定された。
2	いかに針状異物が混入していた。	異物は茶褐色の金属光沢がある3～9mm程度の針状で先の刃部は無毛であり、イカの胴部分の複数箇所に見受けられた。形状及び剛毛の刃先の特徴から、当該異物は環形動物門 多毛綱 遊在目 コガネウロコムシ科に属するものの剛毛と推定された。
3	マンダリンの果心が黒変していた。	果心の黒色部分を顕微鏡で観察したところ、多数の菌糸体と胞子が認められた。また、真菌培養をしたところ、暗緑色のカビの集落が発育した。菌糸体と胞子の形成構造及び発育した集落の特徴から、黒色部分はクラドスポリウム属のカビと推定された。
4	酢ダコの体表面に異物が付着していた。	酢ダコの吸盤部分に白色と緑色の異物があり、それぞれを顕微鏡で観察したところ、白色の異物からはカビ特有の胞子等が確認されず、生体組織様の像が認められた。また、緑色の異物からはカビ特有の胞子等が確認された。以上の結果より白色の異物は酢ダコに含まれる成分が乾燥等の要因で表面に析出したものと推定されたが、特定にはいたらなかった。また、緑色の異物はカビと推定されたが種類特定にはいたらなかった。

8 衛生教育実施結果

平成28年度に、場内の食品関係営業者及び給食施設従事者、並びに一般の見学者等について、講習会等衛生教育を行いました。

両会場の合計は、総回数19回、延人数618人でした。

		食品衛生責任者指定講習会等	消費者等見学者向け衛生教育
回数	本場	4	11
	南部	4	0
人数	本場	148	379
	南部	91	0

9 その他の業務

- (1) 環境保全に関する業務
ネズミ、ゴキブリ等衛生害虫駆除の指導
- (2) 広報業務
インターネットによる検査情報等の配信

市場食品衛生検査所関係年表(S58年以降)

昭和58年	2月	●アオブダイの肝で食中毒発生(1名死亡)
	9月	●韓国産輸入生うにが原因と思われる食中毒多発
	12月	●「ふぐの衛生確保について」厚生省通達
昭和59年	6月	●辛子蓮根によるボツリヌス食中毒事件発生
昭和60年	4月	●TBTO問題について厚生省通達
	8月	●ジエチレングリコール混入輸入ワイン事件発生
昭和61年	6月	●生鮮野菜等に発色・漂白目的で添加物を使用することの禁止が通達される
	8月	●横浜市内でヒメエゾボラのテトラミンによる食中毒が発生
	10月	●「神奈川県ふぐ取扱及び販売条例」改正、届出による「ふぐ加工製品」の販売が可能になる
昭和63年	1月	●シンチレーションサーベイメーターによる放射能測定検査開始 ●EDB暫定規制値改正(パパイヤ、サヤインゲンに加えて、マンゴーにも輸入・移送時の残留を認めない)
	2月	●いわゆる「背曲がりブリ」について取扱規制(場内業者あて通知)
平成元年	1月	●輸入ナシフグによると思われる食中毒が散発、厚生省が監視・検査の強化を通達
	3月	●チリ産ブドウのシアン混入事件発生
平成2年	4月	●米国で必須アミノ酸であるL-トリプトファン製造過程で不純物が混入したため利用者に健康障害が多発し、患者1500名、死者21名に達した
	10月	●井戸水を原因とする腸管出血性大腸菌による下痢症集団発生 ●洋菓子(ティラミス)によるサルモネラ食中毒事件散発
平成3年	8月	●千葉県と神奈川県でコレラ患者発生
平成4年	3月	●瀬戸内海及び三河湾産アサリが麻痺性貝毒で出荷自主規制
	4月	●広島産の生かきが麻痺性貝毒で出荷自主規制
	11月	●イマザリルが食品添加物として指定された
平成5年	2月	●ナシフグの輸入・販売が禁止された
	3月	●食肉製品規格基準改正
	4月	●中国産赤貝から麻痺性貝毒検出
	7月	●横浜市食品監視機動班発足
	9月	●農薬89種類の残留基準制定
	11月	●横浜市でオゴノリによる食中毒発生(死亡者1名)
平成6年	8月	●中国・韓国産生うにの多くから腸炎ビブリオを検出、8月中の入荷を自主規制 ●輸入赤貝から相次いで着色料を検出

平成7年	2月	●米国産リンゴからTBZを検出
	5月	●食品添加物規制の見直し、残留農薬基準値策定の推進、営業許可の見直し等、食品衛生法の大改正
	9月	●国産・輸入ミネラルウォーターにプラスチック片などの異物混入
	10月	●輸入農産物を中心に残留農薬検査を開始
平成8年	3月	●中国産原料うに及びそのうにを使用したうに加工品からホウ酸を検出
	5～12月	●腸管出血性大腸菌O157による食中毒が全国的に発生し、感染者17,877名、健康保菌者1,475名、死者12名に達した
	5月	●乳類、一部の乳製品、食肉製品について総合衛生管理製造過程(HACCP)を経た製造の承認制度が始まる
平成9年	4月	●食品衛生検査施設における適正管理運営基準(GLP)が義務付けられる
	5月	●鮮魚への一酸化炭素の使用問題に対し、厚生省がマグロ、ブリ中の一酸化炭素の検査基準を通知
	6月	●東京都でマレーシア産オイスターソースからボツリヌスA型菌検出 ●大型原油輸送船ダイヤモンドグレース号座礁による東京湾原油流出事故発生
平成10年	6月	●東京都と富山県でイクラ醤油漬を原因とするO157による食中毒事件発生
平成11年	4月	●いか乾製品を原因とするサルモネラ・オラニエンブルグによる食中毒事件が全国的に発生
	10月	●茨城県東海村ウラン燃料加工施設で放射能漏れ事故が発生
	11月	●容器包装に入れられた生食用かきに「採取海域」の表示が義務付けられた ●鶏卵に期限表示などの表示が義務付けられた
平成12年	2月	●横浜市の同一チェーン店でハンバーグステーキを原因とする腸管出血性大腸菌O157による食中毒事件が発生
	6～7月	●雪印乳業(株)大阪工場で製造された低脂肪乳を原因とする黄色ブドウ球菌による食中毒が発生し、発症者は8府県で約6,500名に達した
	7～8月	●全国的に食品に関する苦情件数が前年度を大きく上回った
平成13年	4月	●関東・東北地方で牛タタキ、ローストビーフを原因とする腸管出血性大腸菌O157による集団食中毒が発生する
	7月	●生食用鮮魚介類等の規格基準が設定され、成分規格、保存基準等が施行される
	9月	●千葉県で国内初のBSE感染牛が発見される。翌日より全国で全頭検査を開始
	11月	●西日本を中心に韓国産生カキによる赤痢感染が多発し、輸入禁止となる
平成14年	5月	●中国産冷凍ほうれん草による残留農薬違反が問題となる
	9月	●なし、リンゴ等の農産物に無登録農薬(カプタホール、シヘキサチン)が使用される
平成15年	5月	●食品安全基本法の制定、食品衛生法の大改正が行われる
	9月	●本場マグロ低温卸売場が稼動開始する
平成16年	4月	●横浜市食品衛生監視指導計画に基づく監視指導を開始する
	6月	●南部市場マグロ低温卸売場が稼動開始する
平成17年	7月	●本場冷凍・塩干低温売場が稼動開始する
平成18年	5月	●改正食品衛生法施行に伴いポジティブリスト制度スタート
	8月	●両市場検査所にガスクロマトグラフ質量分析計が導入される
	12月	●ノロウイルスによる食中毒が全国的に大発生する

平成19年	9月	●宮城県で生産された「いかの塩辛」により、腸炎ビブリオによる食中毒事件が全国で散発的に発生する(市内で発生した事件がこの発端となる)
	12月	●フグの不適切な取り扱いによる事故が多発したことから厚生労働省より指導強化の通知が出される
平成20年	1月	●中国産冷凍餃子から農薬メタミドホスが検出され、健康被害が発生する ●茨城県で除毒されていないフグを喫食したことによる死亡事件が発生する
	9月	●両市場検査所にリアルタイムPCR装置が導入される ●中国にて健康被害の原因であったメラミンが混入した食品が輸入される ●非食用に限定された事故米穀を、非食用であることを隠して転売していたことが発覚する
	10月	●中国産冷凍インゲンから農薬ジクロロボスが検出され、健康被害が発生する
平成21年	6月	●新型インフルエンザWHO 警戒水準フェーズ6 世界的流行(パンデミック)
	7月	●神奈川県食の安全・安心の確保推進条例施行(一部平成22年4月1日施行)
	10月	●賞味期限切れ冷凍うなぎ蒲焼きの賞味期限偽装事件が発覚する この冷凍うなぎ蒲焼きからマラカイトグリーンやロイコマラカイトグリーンが検出される
平成22年	4月	●宮崎県で牛の口蹄疫発生
	6月	●えび、かこのアレルギー表示義務化
平成23年	3月	●東日本大震災、福島第一原子力発電所事故の発生
	4月	●ユッケによる腸管出血性大腸菌食中毒事件が発生
	9月	●両市場検査所において食品中の放射性物質検査開始
	10月	●生食用食肉の規格基準が設定される
平成24年	4月	●食品中の放射性物資の基準値が設定される
	7月	●牛肝臓の生食用としての販売提供が禁止
	8月	●浅漬を原因とする腸管出血性大腸菌O157食中毒事件が発生
	10月	●両市場検査所において、ゲルマニウム半導体検出器を用いた放射性物質検査を開始
平成25年	10月	●大手ホテルやデパートの料理でメニューと異なる食材を使う虚偽表示問題が発覚
	12月	●冷凍食品から農薬マラチオンが検出され、健康被害が発生する
	12月	●和食がユネスコ無形文化遺産登録決定
平成26年	1月	●浜松市内の学校で給食のパンを原因とする大規模なノロウイルス食中毒が発生
	7月	●中国の食肉加工会社で期限切れ鶏肉等を日本へ供給していた問題が発生
	7月	●静岡市内で冷やしキュウリによる大規模な腸管出血性大腸菌 O157事件が発生
	12月	●全国的に食品へ異物混入事件が相次ぎ、製造者側では自主回収対応等を実施
平成27年	3月	●南部市場食品衛生検査所が閉所し、本場食品衛生検査所と統合
	4月	●食品表示法施行
	6月	●豚の肉や内臓を生食用として販売提供することが禁止
平成28年	8月	●神奈川県ふぐ取扱い及び販売条例が一部改正され、「ふぐ加工製品」を業として取り扱う場合は、知事の認証を受けなくても届出のみで調理・加工等を認められることとなった

平成29年11月発行

食品衛生検査所事業概要

横浜市中央卸売市場

本場食品衛生検査所

〒221-0054

横浜市神奈川区山内町1番地

TEL045(441)1153